

スポーツくら

TOYO

BIG

2023

No. 107

Spring

# Dance ダンス Dance ダンス Dance ダンス

(公社) JDSF 創立45周年記念式典・祝賀会

パリオリンピック2024への道 ブレイキンレポート

全日本シニア・ジュニア10ダンス選手権

新潟県DS連盟30周年 / 茨城県DS連盟40周年 記念式典



<http://www.jdsf.or.jp>



公益社団法人  
日本ダンススポーツ連盟  
Japan DanceSport Federation



JDSF創立45周年記念式典を終えて

# 新たなダンス界の未来に向けた JDSFの新ビジョン

JDSF45周年記念式典実行委員会・委員長  
JDSF新ビジョン策定プロジェクト・リーダー

中道 俊之



## 45周年記念式典を終えて

2023年2月26日(日)京王プラザホテル(新宿)コンコード・ボールルームにおいてJDSF創立45周年記念式典が開催されました。当日は、(公財)日本オリンピック委員会、(公財)日本スポーツ協会、(公財)東京都スポーツ文化事業団等の関係機関や協賛企業各社からのご来賓をはじめ、全国から参集した加盟団体関係者、さらには正午から開催されたPD関東甲信越ブロック主催第3回PD祭のお客様も加え約450人の参加者でにぎわいました。

ちょうど3年前、2020年2月2日にこの会場で公益財団法人日本スポーツ協会正加盟記念式典を開催してから程なくして日本国内はコロナ禍のため行動が制限され、それぞれの連盟活動やスタジオ経営に多大な影響が及ぶこととなり、私たち関係者は未曾有の3年を経験しました。この間、様々な学習を経て場面場面で感染防止に最善を尽くしつつ、社会、経済、スポーツ、文化などいろいろな分野での活動を再開していくことが自分たちの生きがいやモチベーションを高めてくれると確信した3年でもありました。

祝賀式典では、冒頭JDSF役員一同が入場整列、布村幸彦会長からのご挨拶に続き昨年就任された学識経験理事等からウイットに富んだショートスピーチも行われ、激動の時代を走り続けるJDSF役員が多様な一面を共有させていただきました。そして45周年功労者表彰式ではJDSFの名誉並びに発展に著しい貢献をされた方やJDSFや加盟団体の役員を務め著しい功績を残された方々60人に対し、感謝を込め顕彰させていただきました。

セレモニーに続く記念式典ショータイムでは、三笠宮杯GD、PDそれぞれ第1位、第2位のカップル5組と日本初の世界大会「WDSF Breaking for Gold World Series in 北九州」を前日終えて駆けつけたレイキンのスペシャルチームが45周年記念の祝宴に華を添え、レイキン&ペアダンスのコラボレーションシーンなどJDSFならではのスペシャルショータイムが繰り広げられました。

そのショータイムの興奮冷めやらぬ中で「乾杯」、会場は熱気に包まれながらも和やかなムードでディナータイムへ。そして、ディナータイムのあとはPDショータイムで一気にヒートアップ。メンズフォーメーション、Duel Dance、ソロデモンストレーション、スペシャルデモンストレーションと続き余韻を残しつつクローズしました。

## 新たなダンス界の未来に向けたJDSFの新ビジョン

JDSF45周年記念式典当日、式典会場においてJDSF新ビジョンを発表しました。

JDSF新ビジョンは、1. Mission (ミッション) 2. Vision (ビジョン) 3. Value (バリュー) の3つで構成されています。

### 1. Mission (ミッション)

組織の存在意義、組織が果たすべき使命、社会に対してなすべきこと等について言語化したもので「社会に対する約束」といわれています。

**JDSFは新たなダンス界の未来を創り出し**

**人々に躍動的なエネルギーを届け**

**日本中を幸せな気持ちで満たし続けます**

オリンピックを目指す競技スポーツとしてのダンスのみならず、老若男女誰もが楽しめるダンスを通じて、多くの国民が、いつまでも若々しく・健康で・恰好よく「人生を舞う」社会を実現します

### 2. Vision (ビジョン)

ミッション実現のためにめざす状態、組織が目指すあるべき姿、実現しようとする世界等について言語化したもので「その組織の共通認識」といわれています。

**～誰もがスポットライトを浴びる世界へ～**

「体験」の質に徹底的にこだわり抜き、熱狂の渦を作りだし、そこでしか味わえない最高の感動体験を生み出し続けます

### 3. Value (バリュー)

ミッションやビジョンを達成するための行動指針、構成員の行動や判断の基準、組織が重視する価値観等について言語化したものでビジョン同様「その組織の共通認識」といわれています。

**JDSFはミッション、ビジョンを実現するため5つの視点を大切にします**

**これは私たちが共有する価値観であり、全ての会員が行動する際の基本です**

#### フェアネス

- ・不公正なバイアスを排除し、公益の最大化に向けて民主的な運営を行います
- ・「ガバナンス」を重視し、透明性と社会的価値を向上させ、会員やステークホルダーの利益を守ります

#### リスペクト

- ・ダンスへの愛をベースにそれぞれの個性をリスペクトし、目指す未来の実現に向け真摯に向き合います
- ・JDSFはダンスを愛し、経験豊かで多様な個性の会員が構成する組織です お互いを認め合い、友情・連帯をもっていきたいと協働します





### パッション

- ・常に楽しむ気持ちを忘れず、体だけでなく心も躍らせることを大切に全力を尽くします
- ・自らの意思で楽しく情熱的に取り組み、高いパフォーマンスを発揮して成功体験を重ねます

### ファッショナブル

- ・「心」と「身体」、両面の美しさ・品性・恰好よさを追求します
- ・「人生を舞う人」として、目に見えるもの（身体/見た目）だけでなく、目に見えないもの（心/思い/魂）の重要性を追求します

### レジリエンス

- ・急激な環境変化に屈することなく、積極的かつ柔軟に適応・進化し続けます
- ・社会環境の急激な変化による困難や脅威にも負けず、時に大胆な変革をする覚悟をもって適応し、ダンス界の未来を創り続けます

この「ミッション」「ビジョン」「バリュー」は、10年後も、20年後も、30年後も変わることのないJDSFの存在意義であり、役割です。JDSF各部門の関係者や各加盟団体の皆さま、そして思いを共有する多くの仲間の皆さんとともに同じ立ち位置に立ち、誰もがスポットライトを浴びる世界をめざして参ります。

## 2022年度全国加盟団体代表者会議

日時：2023年2月26日（日）11:00～12:00

場所：京王プラザホテル42階・スカイバンケット高尾



JDSF創立45周年のこの2月26日、午前11時から全国都道府県会議が開催されました。

岸尾政弘事務局長の司会で始まり、山田淳専務理事より、JDSF やダンススポーツを取り巻く内外の環境がめまぐるしく変化する中、「なぜこの取り組みが必要か？」説明があり、JDSFの存在意義（ミッション）やめざすべき状態（ビジョン）等について、プロジェクトリーダー中道俊之理事（組織変革委員長）より「JDSF新ビジョン」の解説がありました。



山田専務理事（右）と  
中道理事（プロジェクトチームリーダー）

様々な視点からの議論・検討を実施する為に、JDSF内部の公募メンバーに外部有識者を交えたチーム編成にて本プロジェクトは遂行。新ビジョンは、全国加盟団体代表者会議&JDSF創立45周年記念式典で発表。今後は、基本戦略、



参加理事役員

事業戦略に分解し、実施部門との対話調整で実施、展開。KGI（重要目標達成指標＝最終目標）達成に向けて、KPI（重要業績評価指標＝KGIの中間指標）の策定と実行に向けて進んで行くことになりました。

### 外部有識者

第三者的な立場でプロジェクトにご参加、この会議にはZOOMにてご挨拶いただきました。



外山 晋吾

（元Jリーグ特任理事）

今、ロンドンにいます。夜中の2時です。30年後のダンス界を作る羅針盤になるようなミッション・ビジョン・バリューになれば、と思います。



吉井 栄伸

（株式会社ビーネックス  
テクノロジーズ  
代表取締役社長）

ダンスは学連で経験しました。JDSFというよりダンス界の未来がもっと明るくなるように、という思いで参加させていただきました。





# (公社)日本ダンススポーツ連盟

## 創立45周年記念式典・祝賀会

2023年2月26日(日) / 京王プラザホテル コンコードボールルーム



記念誌

京王プラザホテルのコンコードボールルームを会場として、2月26日、多くの来賓や招待客、全国からの連盟会員を集めて、日本ダンススポーツ連盟の創立45周年記念式典・祝賀会が華やかに繰り広げられました。会場では200名に迫る来場者と多数のゲストダンサーたちの熱気に包まれた式典・祝賀会が大成功を収め、本来の45周年だった昨年を新型コロナの影響で順延せざるを得なかったことを忘れさせるだけの盛会となりました。

来場された方々は、同日に行われていた第3回PD祭の心躍らせる雰囲気味わうように、16:00のドアオープンとともに用意された宴席のテーブルへ案内されます。ステージで続いていたダンスタイムの音楽がフェードアウトするとともに司会からの記念式典・祝賀会開始の案内。実行委員長を務めた中道俊之業務執行理事の開会挨拶とともに式典のスタートです。

来賓を代表した日本オリンピック委員会星野一朗専務理事、東京都スポーツ文化事業団榎本雅人理事長からの

祝辞が披露され、来賓各位の紹介に続きます。ここで、長年、連盟会長を務めその発展に大きく尽くした齊藤斗志二名誉会長が舞台中央へ。ダンススポーツへの熱い言葉を受けるように、現在の連盟役員がステージに並びます。布村幸彦会長を始めとした24名の役員、理事、監事が次々に紹介されて入場、布村会長による主催者挨拶があり、続いてJOC、東京都スポーツ文化事業団を代表するご来賓の方からご祝辞を賜りました。

会場は45周年にあたり連盟の発展にさまざまな功績を残した方々の表彰へと移ります。布村会長から特別感謝表彰の齊藤名誉会長を筆頭に、特別功労表彰、特別選手表彰、特別功労選手表彰、功労表彰、そして永年勤続表彰、ダンススポーツコーチ永年表彰の皆様に賞状が授与されました。晴れやかな表彰式を終え、会場では式典に際してJDSF新ビジョン発表がプロジェクトリーダー中道理事によって行われ、来場者の関心をひきました。

プログラムは記念祝典ショウタイムへと進みます。10



(公財)日本オリンピック委員会 星野一朗専務理事

(公財)東京都スポーツ文化事業団 榎本雅人理事長

(公財)日本スポーツ協会 森岡裕策専務理事

(公社)日本ダンススポーツ連盟 齊藤斗志二名誉会長

(公社)日本ダンススポーツ連盟 布村幸彦会長

(公社)日本ダンススポーツ連盟 中道俊之理事



### ご来賓の方々



受付の皆さん



ダンスショウタイムから前半のスタンダードはGD、PDのトップ選手3組によるQuick Step、それに続いてブレイクダンスショウタイムでは、2チームに分かれてのパフォーマンスの最初にそれぞれに10ダンスのトップ選手が飛び入りで参加するサプライズが会場を驚かせました。それに続いたブレイキンの迫力は来場者を圧倒。さらに10ダンスはラテンに移り、GDとPDのトップ選手ラテンのトップ選手2組のCha Cha Chaが披露され会場を沸かせました。最後は10ダンスとブレイキンの双方の選手が集って満場の拍手を受けるなか、祝典ショウタイムはフィナーレを迎えました。

祝賀会は次へと進み、日本スポーツ協会森岡裕策専務理事のご祝辞と乾杯のご発声を賜り食事と歓談に来場者が興じるなか、プログラムは各来賓の紹介と祝電披露などへと進みます。その間にもフロアではダンスタイムやPD祭表彰などが進行し、歓談も落ち着いたところで来場者期待のPD祭ショウタイムが始まります。PDトップ選手がそれぞれに趣向を凝らしたパフォーマンスの連続に、ダンスの素晴らしさに圧倒されるような夢心地が会場を支配するなか、名残惜しい式典・祝賀会も終宴へと向かい、最後に山田淳専務理事の御礼の挨拶とともに、創立45周年記念式典・祝賀会は成功裏に終わりの時を迎えました。

**祝典ショウタイム**



オレクシー グザー・  
太田 吏 圭子 組



山本 武志・  
木 嶋 友 美 組



久保田 弓 椰・  
徳 野 夏 海 組



大西 大 晶・大西 咲 菜 組



小嶋 みなと・  
盛 田 め ぐ み 組



プログラム

公益社団法人日本ダンススポーツ連盟  
第3回PD祭 & 創立45周年記念式典・祝賀会



役員・出演の皆さん



プレイキン・スペシャルショーケース



大西大晶選手と小嶋みなと選手が飛び入り参加



マーロック



ラム



カツワン

JDSF創立45周年功労者表彰

特別感謝表彰2名



齊藤斗志二  
中井眞一郎

特別功労表彰3名



渡辺英美 居樹保朗 永井 彰

特別選手表彰5名



河合来夢 (RAM)

湯浅亜実 (AMI)  
半井重幸 (SHIGEKIX)  
福島あゆみ (AYUMI)  
堀 忖成 (ISSEI)

特別功労選手表彰20名



大西大晶 小嶋みなと オレクシーグザー 山本武志 久保田弓椰 秋谷孝宏 今井正幸 岡田明義  
大西咲菜 盛田めぐみ 太田吏圭子 木嶋友美 徳野夏海 田原美穂 今井由香 岡田祐子

谷口主嘉  
谷口小夜子  
林 伸男  
林 民子

功労表彰10名



天道貞一 長谷川守夫 林 伸男 吉原陸巳 玉城嶺子 尾原道理  
海野美代子 柳川正勝 徳永一美 藍沢和子

永年勤続表彰1名



宇都宮正旭

日本スポーツ協会ダンス  
スポーツコーチ永年表彰16名



(代表して) 水本泰弘



# 第3回PD祭

JDSF創立45周年記念式典に先立ち、第3回PD祭が開催されました。

## PD表彰

### ベストティチャース賞3名



石本美奈子、高橋一昌、山嵯圭太

### PDブロックランキング表彰6名



高橋一昌・高橋由紀子組、山嵯圭太・石本美奈子組、長谷川和美・長谷川梓組

## PD SHOW TIME



メンズフォーメーション



山嵯圭太・石本美奈子組



秋谷孝宏・田原美穂組



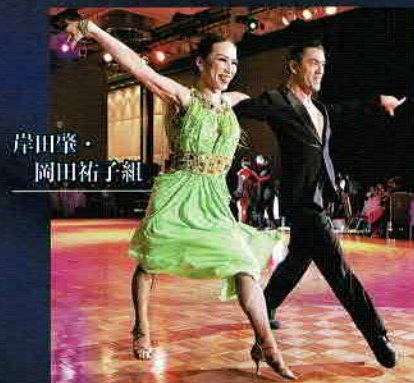
市村誠寛・市村陽子組



高橋一昌・高橋由紀子組



Kevin・河岡宏美組



岸田肇・岡田祐子組



第3回PD祭実行委員長 守屋 学

2016年6月、JDSFの内部組織としてPD部門（プレミア部門）が本格的に活動をスタートさせてから今年で8年目を迎えます。この間、三笠宮杯全日本PD選手権を始めとするPD公認競技会の開催、PD資格試験制度実施、PD指導者の育成など、様々な活動を行ってきました。今回で3回目になります『PD祭』もその活動の一つで、全国のPDブロック（北海道、東北、関東甲信越、東海北陸、西部、九州）の内、PD関東甲信越ブロック主催で2019年に第1回PD祭を京王プラザホテル（エミネンスホール）にて開催いたしました。

アマチュアデモンストレーション、トライアルに大勢のお客様の出演もあり、またPDアワードではPD選手へ

の表彰も行われ、1年間の成果をPD祭で披露するという目標にもなりました。

翌年、第2回PD祭では、JDSFの日本スポーツ協会正加盟記念式典と併催し、パーティー会場をコンコードボールルームに移し、500名強のお客様のご来場となり盛大なPD祭となりました。順風満帆に見えたPD祭ですが、翌年から2年間はコロナ禍の為開催することが出来ず、またダンス界にとっても苦しい時期となりました。今回、3年ぶりですが、第3回PD祭をJDSF創立45周年記念式典・祝賀会と併催出来たことは、これからのJDSF-PDの発展、またダンス界の発展に多大なる貢献が出来るものと存じます。



# ダンススポーツアスリートのトップリーダー

山本武志・木嶋友美組

2010年、JBDF（公益財団法人日本ボールルームダンス連盟）プロスタンダードA級及びラテンA級に昇格。翌2011年から2015年まで全日本10ダンス選手権5連覇、2016年、スーパージャパンカップ全日本選抜戦のスタンダード&ラテン優勝。JDSF-PD設立と同時に移籍。その年の三笠宮杯初のPDラテン優勝（スタンダード準優勝）、WDSF（世界ダンススポーツ連盟）10ダンス選手権第5位、2017年のオリンピック五輪のマークを胸に出場した第5回アジアインドア&マーシャルアーツ大会（参加国と地域数：62）では全日本選手獲得金メダルの2個のうちの1個を獲得し、JOC役員から祝福を受けました。2018年、長女を出産、復帰後の2019年、三笠宮杯PD部門ラテン優勝、以後も日本を代表するダンススポーツの10ダンスアスリートとして、国内外の競技会にそしてダンススポーツの普及・指導・発展に大活躍中です。

（JDSF広報部相談役 神宮周二）



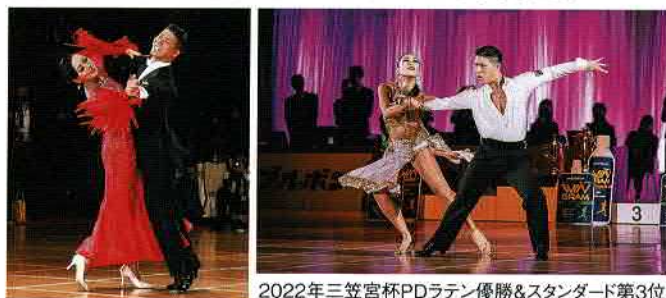
お嬢さんも一緒に恩師ピーター・マクスウェル WDSF名誉顧問のスタジオにて



月刊ダンスビューの表紙やレッスンDVDにも度々登場

## Q カップルの結成はいつ？きっかけは？

**A** お互いに高校を卒業してすぐにダンス教室に勤務し、1年ほどたった頃にトライアウトしました。最初は踊り方が全く違い、キャリアも全く違うので“お似合いのカップル”と言えるような状況ではありませんでした。ですが篠田龍佑先生・沙代子先生の決断でカップル結成しました。トライアルの2週間後にJBDFのノービス戦にチャレンジし優勝。そこから二人のキャリアがスタートしました。



2022年三笠宮杯PDラテン優勝&スタンダード第3位

## Q 2016年7月のJDSF-PD部門設立説明会から積極的に参加されていましたが、JBDFからの移籍の理由は？

**A** JBDF所属当時から私たちはイタリアのTeam Diabloへ通っていました。篠田先生の師匠であるピーター・マクスウェル氏の勧めでした。そこでJDSFの強化合宿で遠征に来ている強化選手たち（小中学生の大西兄弟や久保田選手、徳野選手もいました!）と出会い、日本のプロの世界について深く考えるようになったのです。修学旅行にも行かずダンスに真摯に打ち込む選手たちに、胸をはってプロの道を薦められるだろうか考えた時、新しい世界を創らなくては思いました。そこで審査基準が明確なJDSFにPD部門が設立されることになり子供たちに新しい選択肢を与えられるのではと考え、移籍を決意しました!



今年もイタリアのチームディアブロ（Team Diablo）に約1カ月、大西大晶・大西咲菜組なども一緒に参加。お嬢さんも一緒にバチリ。

## Q 2017年第5回アジアインドア&マーシャルアーツ大会では、JOCから日本代表として派遣され、全日本選手団でも2個のうちの1個の金メダル、さらには銀メダルにも輝きましたが、五輪のマークのジャージを袖に通された時のお気持ちは？

**A** とても嬉しかったです! アジアオリンピック評議会（OCA）が主催する国際総合競技大会で日本国旗を中央に掲げ、国歌君が代が流れるのは全アスリートの夢ですから! 本当に素晴らしい時間でした。国内での壮行会でもJOCの竹田恆和会長から必ずメダルをとってください、と念を押されていましたから、金メダル・銀メダルを獲得できてほっとしました。またJOCからの派遣という事で国を代表するという特殊な緊張感と責任感を感じながらも、



金メダルと銀メダルに輝く



竹田恆和（JOC）会長と（2017年7月WG日本代表選手壮行会にて）

帯同スタッフの方々やチームメイトの応援、そして何よりコーチであるベネデット&クラウディアのサポートのお陰で自分たち自身に打ち勝てたと思います。何にも変えがたい経験となりました。



**Q** トルクメニスタンというあまりダンスとは馴染みのない中央アジアのイスラム系の国での開催でしたが、現地入りした時の感想はいかがでしたか？

**A** とても面白い国でした。皆さんとても豊かで穏やかで満たされている感じがしました！ 子供がたくさん！印象的だったのは建物や車などが全て真っ白だったこと。国王の意向なのだとか…。日本語を勉強している子供もたくさんいて話が盛り上がったのを覚えています。

**Q** 篠田龍祐・沙代子先生経営のシノダダンススポーツクラブを継承され、LIBERA DANCE (リベラダンス)に改称されましたね。

**A** 私たちはJDSFに移籍するにあたり、ダンススポーツのコーチ業を専門とすることを決めました。ですが、在籍のスタッフは社交ダンスが得意な人、ストレッチや体のメンテナンスが得意な人など、みんなそれぞれ立場やキャリア、在籍団体がさまざまです。またそれに合わせて、お客様も下は2歳から上は90歳までと年齢も幅広く、目的も多岐にわたります。そんな様々な世代の方々がそれぞれを尊重し、応援しあえるような場所になるようにしていきたいという想いを持って運営しています。スタッフもお客様も自由に生き生きとした毎日を過ごしてほしいです。

篠田先生には本当に大切なことをたくさん教えていただきました。一番は“やるならやる!!”です。デビューするときに、スタートしたら2人で“最後まで走り続けなさい!!”と書いていただいて、その言葉が私たちの危機を何度も救ってくれています。書ききれませんが、先生たちからいただいた言葉を今は自分たちの愛弟子達によく話していて受け継がれていますね。

**Q** LIBERA DANCEは、何と言ってもTBS系テレビ番組金スマの蜷川博信・浅田舞組の練習場(ホームグラウンド)ですが、ダンスに取り組む姿勢はいかがですか？

**A** お二人ともとても熱心ですよ！ レッスンももちろんですが、自主練を黙々とやる姿勢がとても素晴らしいです。私たちは手加減しないので心折れちゃうかなと思う時もあるのですが、彼らは決して折れません(笑)。本当にダンススポーツを愛してくれていて、スタジオのみならずとも仲良く打ち解けています。このスポーツの素晴らしさ、美しさをメディアで体を張って発信してくれて感謝です。

**Q** 浅田舞さんとイタリアにテレビクルーと一緒にいきましたが、道中はいかがでしたか？

**A** 舞さんは自前で単独で行きましたので、テレビクルーも一切なしです。学生のカップルたちとみんなで共同生活なのですが、この方は芸能人ではなくアスリートだと改めて実感しました(笑)。道中もとてもフランクで協力的で、私たちを含めみんなのことをヘルプしながらも黙々とご自身のレベルアップに励んでいました！



ベネデット&クラウディアカップルとジュニア選手



「中居正広の金曜日のスマイルたちへ」(TBS系) 蜷川博信・浅田舞組を2022年三笠宮杯シニアIラテン戦、見事に準優勝に導いた山本・木嶋コーチ

**Q** 尊敬するコーチを教えてください。

**A** 何もわからない私たちにいちから指導してくれた篠田龍祐・沙代子先生。大した競技経験のない私たちを日本チャンピオンまで育ててくれました。本当に感謝しています。そして篠田先生方の師匠であるピーター・マクスウェル大先生。お父さんのような存在です。いつも気にかけてくれ、とても優しい方ですが同時にとても厳しい辛口な批判をくれます(笑)。そしてベネデット&クラウディア夫妻です。本当に働き者！ 弟子のために一生懸命に教えてくれます。レッスン以外のことも親身に本気で向き合ってくれます。ダメな時は本気で叱って教え、いい時は心から喜んでくれる。私たちは彼らのようなコーチになりたいです。私たちの人生の生きがいをつくってくれた人です！

**Q** 月刊ダンスビュー4月号では LIBERA DANCEのインストラクターの大西大晶・大西咲菜組は、兄はJDSF専務理事、妹はダンス企業の社長が目標との記事がありましたが、目標があればお願いします。

**A** 日本選手を強くしたいです。まずはアジアで一番のダンススポーツチームを目指します！ またダンススポーツを通して日本の教育のあり方も変えたいです。日本の子供たちは自尊心が低い子、コンプレックスが強い子、自発性のない子供が多いように感じます。生きづらさを感じている子供が多いのです。私たちのコーチングを通して自分らしく強く美しく、自由に生きていけるようお手伝いできたらと思っています！

## 年末年始のTVを JDSF選手が大活躍!

日本レコード大賞 TBS 12/30(土) 17:30よりの生放送

お馴染みの歌謡年末番組「輝く!日本レコード大賞」にJDSFより以下の選手がオープニングアクトとして出演いたしました。他にも「美女と野獣」の時にも出演しました。



**出演者**  
 (スタンダー)  
 山本 寛志・木嶋 実華  
 八巻 莉穂・徳川 巴  
 山本 圭太・石本美奈子  
 田沢 拓郎・須田 美帆  
 五月女光政・五月女舞音  
 (ラテン)  
 大西 大晶・大西 咲菜  
 野原 一樹・山岡 悠子  
 海老原幸人・タカキルナ  
 西村 康史・鳥尾 穂香  
 藤井 聡太・吉川 あみ



# 新潟県ダンススポーツ連盟 創立30周年記念祝賀会

2023年(令和5年)2月12日(日) / ANAクラウンプラザホテル新潟



新潟県ダンススポーツ連盟は昨年創立30周年を迎えましたが、コロナ禍により一年延期し、全国に先駆け2月12日、中原八一新潟市長のご臨席を賜り、300名以上の参加者を迎え、創立30周年記念式典を盛大に開催。ご来場の皆様も久しぶりのダンスタイムを心から楽しみました。

連盟創立以来「上げようダンススポーツの輪」をテーマに活動をしてきましたが、今後もこの精神をモットーに、可能な限りジュニア世代の拡大と育成、高齢者に対しては「日本整形外科学会」が平成19年に提唱した「ロコモティブシンドローム」(神経、筋肉、関節などの運動器症候群)を予防し、健康寿命延伸の視点からもダンスの素晴らしさを啓蒙し続けたいと、整形外科医でもある石川誠一新潟県DS連盟会長の方針が記念式典のご挨拶で披露されました。山田

淳JDSF専務理事は「先代の本間朗会長(現名誉会長)の時代から新潟県DS連盟には重要な役割を担っていただき感謝しています。益々のご発展を！」と祝辞を述べました。

新潟県柏崎市に本社を置き、心と体の健康づくりの観点から、「食」の提供と、「文化・芸術」「スポーツ」の支援活動に取り組む㈱ブルボンの吉田康社長は「JDSFのオフィシャルスポンサーとして、次世代を担う世界的選手の育成・強化を目標に有望なユース・ジュニア選手を選抜しブルボン・ダンススポーツチーム(ブルボンDST)の事業を支援しています。応援をよろしく」とご挨拶。高山幸雄新潟県ボールルームダンス連盟会長のご祝辞の後、来賓紹介、表彰式と続き、笹山治一富山県DS連盟会長の乾杯でディナータイムに移りました。



会長デモンストレーション  
石川誠一・石川美智子ご夫妻



石川誠一会長ご夫妻並びに  
加瀬慎一実行委員長(左)



中原八一新潟市長



㈱ブルボン吉田康社長



高山幸雄 新潟県ボール  
ルームダンス連盟会長



山田淳JDSF専務理事



優秀選手表彰



特別功労者表彰  
本間 朗 名誉会長



乾杯の音頭をとる笹山治一  
NPO法人 富山県DS連盟理事長



功労者表彰



ダンスタイム



JDSF本部及び各県連盟の皆様



式典を飾る特別デモ



新潟県ブレイクン部



石垣真衣さん指導のスマイルジュニアダンススポーツ少年団



大西大品・大西咲菜組



小嶋みなと・盛田めぐみ組

全日本チャンピオンによる  
スペシャルダンス



パートナーを  
チェンジして



(株)ブルボン吉田社長を囲んで



# 第8回全日本シニア10ダンス選手権 第1回全日本ジュニア10ダンス選手権

2023年1月8日(日) / 伏見港公園体育館

シニア10ダンス選手権も第8回を迎え、初のジュニア10ダンス選手権も開催されました。谷口主嘉京都府DS連盟会長の段取り、奥様の谷口小夜子の名司会、さらに少数精鋭の役員スタッフの精力的な働きにより、タイトなスケジュールも全て予定通りに進行。体育館の暖房入れ忘れのハプニングもありましたが、冷え込みも厳しい中、熱戦が繰り広げられました。開会式セレモニーで、谷口会長は「選手仲間からジュニア10ダンスも京都開催の要望があり、本部に伝え初の実施に至りました。コロナ禍でもこの大会は毎年開催されてきましたが、コロナ禍もあり選手が集まるかどうかという心配をよそにシニア10ダンスは昨年の34組を上回る42組、ジュニアには7組のエントリーがありました。ジュニアに元気ももらってシニア選手も頑張っ!!」と挨拶があり、恒例の横断幕を前に記念撮影も行われました。



植村和正実行委員長



阪田員郭チェアパーソン



司会進行の谷口小夜子さん、植村澄子さん



選手宣誓 松本武士・宮西朋代組

痛み始めた腰、そして筋肉痛を押して、ジュニア選手達に元気ももらいながら精一杯踊ることを誓います!



横断幕の前に記念撮影



2 村瀬賢一・小笹詩織組 (埼玉県DSC)

1 石田茂之・矢野美帆子組 (すみれダンススポーツクラブ)



6 内藤雄介・秋松ひとみ組 (北海道DSC)

5 山下慶太郎・池田綾香組 (名古屋市西区所属サークル)

4 森見士・森仁美組 (三重県DSC)

3 松本武士・宮西朋代組 (京都Dアスリートクラブ)





**1** 茂呂駿舞・今村朱里組  
(シニアアスリートクラブ)

**2** 全日本ジュニア10ダンス選手権

**2** 原澤英大・竹之内梨音組  
(ミレニアムダンス山梨)

**3** 江田煌也・細田琉永組  
(島根県安来市 BALL HALL)

**4**

鈴木侖音・渡辺華凜組  
(シニアアスリートクラブ)

**5** 小宮康平・勝木里核組  
(優勝C級戦スタンダード&C級戦ラテン)  
(DSC神奈川)

**6** 神谷栄登・上野綾花組  
(ミレニアムダンス山梨)



A級戦 スタンダード  
優勝 米田憲弘・米田美砂子組 (兵庫アスリートクラブ)  
2位 加藤修久・加藤裕子組 (大阪府)  
3位 濱崎義弘・濱崎千鶴組 (兵庫アスリートクラブ)



A級戦 ラテン  
優勝 稲葉道郎・清水明実組 (新潟県DSC)  
2位 小原茂祥・永田めぐみ (大阪府)  
3位 加藤一雄・山田明美組 (神奈川県)



シニアII A級戦 スタンダード  
優勝 栗林幸範・左雲和子組 (大阪府)



シニアIII A級戦 スタンダード  
優勝 北澤直希・北澤みよ子組 (京都Dアスリートクラブ)



シニアIV A級戦 スタンダード  
優勝 菅研二・菅綾子組 (大阪府)



B級戦 スタンダード  
優勝 山本昌一・山本宗子組 (京都Dアスリートクラブ)



C級戦 スタンダード



B級戦 ラテン  
優勝 水田悠斗・大塚千栄組 (京都ジュニアダンススポーツサークル)  
(プレジュニア ラテン・プレジュニア ジュブナイル ラテン優勝)



C級戦 ラテン

D級戦 スタンダード  
優勝 坂口豊・榊原尚美組 (京都ダンススポーツサークル)





JDSFブレイクダンス本部選手強化部長 渡邊 将広 (JOCハイパフォーマンスディレクター)



# 第4回 全日本ブレイキン選手権

2023年2月18・19日 / 会場：国立代々木競技場 第二体育館  
 主催：公益社団法人日本ダンススポーツ連盟(JDSF) / 共催：NHK

2月18日(土)・19日(日)の2日間、日本のストリートダンス発祥の地と言われる、代々木公園内の「国立代々木競技場 第二体育館」において「第4回全日本ブレイキン選手権」が開催された。本大会は、前年度の全日本ブレイキン選手権の優勝・準優勝選手や、各地で行われる予選となるJDSF BREAKING ブロック選手権、マイナビ JDSF ブレイキン ジャパンオープン 2022などの大会を対象とした、「第4回全日本ブレイキン選手権 出場ポイントランキング」の上位選手のみが出場出来る。今回の全日本選手権を勝ち上がり、優秀な成績を残した選手は次年度の「強化選手」に指定され、ダンススポーツ ブレイキンの国際大会へ、日本代表・強化選手として海外で戦う事や、ダンス競技力向上のプログラムに参加することが出来るため、パリ五輪出場に向けての大事な一歩となる。

この大会は1月27日記者会見を開催、2月19日はNHK



総合テレビで全国に生中継された。また、各テレビ局のスポーツニュースやスポーツ紙他各新聞にも大きく掲載された。



残ったBGIRLは、昨年と同様のメンバー AYUMI、AMI、AYANE、AYUの4名。決勝にはAYUMIとAMIが進出した。昨年の日本選手権の女子決勝も同じカードであり、この2名は過去に世界一をかけて対戦したこともある。まさに、現在の日本BGIRLシーンを象徴する2名だ。決勝戦では、両者の得意とするフットワークを中心に、スピーディーなバトル運びをしながらも、細かいテクニックや独自の動きを取り入れていく。女子は男子に比べてスコアも接戦となった決勝戦。終わった後のインタビューで「とにかく出し切った!」と、話していたAYUMIが僅差のバトルを勝利し、連覇を達成。優勝直後は涙を堪えるシーンもあった。



優勝: AYUMI (福島あゆみ)  
 2位: AMI (湯浅亜実)  
 3位: AYANE (半井彩弥)

## オープンBBOY部門

### Shigekixが3連覇!!

ちょうど3ヶ月前に行われたジャパンオープンの決勝カードNORIとShigekixが準決勝で対決。ハイクオリティ、かつ細かい音にも動きを合わせる両者は、フリーズまでの一連のムーブを完璧に披露した。結果2-0でShigekixが勝利するが、内容としては僅差のバトルに、会場も大いに沸いた。決勝はShigekixと、昨年の全日本選手権3位のSHADEが対戦。SHADEは、クラシックバレエで培った柔軟性を活かし、オリジナリティあふれる動きをムーブに入れるのが得意。15年以上のキャリアがあり30代の今もシーンのトップランカーである。対する



Shigekixは、3ムーブ制となった決勝戦でも体力は衰えず、最後まで難易度の高い技を連発、結果3-0で勝利した。

優勝: Shigekix (半井重幸)  
 2位: SHADE (岡田修平)  
 3位: NORI (菊池教稔)



オープンBBOY表彰式  
 右: 布村幸彦 JDSF 会長

## ジュニア部門

### 次世代BBOYとBGIRLが活躍した

#### ジュニア部門、WATOが2連覇!

BBOYの決勝は、関東の次世代BBOY代表格である前回王者のWato vs 初めて全日本の決勝戦に駒を進めたGINが対決。Watoは得意のパワームーブで、ミスのない安定したバトル運びを行い、見事2連覇を達成した。BBOY部門でTOP3に入った3名は、世界大会3連覇の偉業を持つ日本屈指のチームであるTHE FLOORRIORZのアカデミー出身者であり、日本ブレイキンシーントップのDNAが、次世代のBBOYにも受け継がれていることを証明した。BGIRLはHaruがEmieKatを下し、ジュニア世代のナンバーワンBGIRLに輝いた。今年のオープン部門で全日本選手権に出場している、TsukkiやRAIONも過去のジュニア部門のチャンピオン。今大会で活躍した次世代BBOYとBGIRLの今後にも注目である。



ジュニアBBOY部門  
 優勝: WATO (倉井湧都)  
 2位: GIN (森谷 銀)  
 3位: Lil kong (中村駿太)



ジュニアBGIRL部門  
 優勝: Haru (竹中千遥)  
 2位: EmieKat (大塚えみ)  
 3位: 7G (高橋 凜)

## オープンBGIRL部門

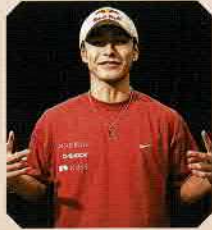
### AYUMIが連覇達成!!

世界大会の決勝カードが日本一決定戦で実現、準決勝に



### オープン男子 優勝 Shigekix

僕は、心の底から楽しく踊っている瞬間が、身も心もいい状態になって一番いい踊りが出来ます。まず自分が良い踊りをするために頑張るといのが一番ですが、結果的にそれが皆さんに伝わっていたら嬉しいなとも思っています。また、出場しているBBOYはみんな、良さも個性も全く違う中で、その個性豊かで、自由度が高いところに魅力を感じてもらえたら、今日僕たちが見せたものに価値があるかなって思います。



### オープン女子 優勝 AYUMI

何度も対戦経験のあるAMIとのバトルは毎回そうなのですが、お互い少し離れたところで準備をされていて、バトル前は意識をしないようにしています。というよりも、自分との勝負！という気持ちの方が強くて、バトルなので相手も大事だけど、自分がしっかり出し切れるための準備をしていました。今日は自分の踊りを自分自身でほめたいと思いますけど、明日からはまた次に向けて一步一步練習していきたいと思います。



# WDSF Breaking for Gold World Series in 北九州 presented by Create

## 2024年パリ五輪の出場権にも繋がる世界大会が日本で開催

開催日2023年2月24・25日(金) / 会場：西日本総合展示場 新館 (北九州市小倉北区)

主催：公益社団法人日本ダンススポーツ連盟 (JDSF) RKB毎日放送株式会社 公認：世界ダンススポーツ連盟 (WDSF)

本大会は世界ランキングのポイントが最も多く得られる大会であり、ランキング上位者はパリ五輪出場権を獲得するための大会「オリンピック・クオリファイア・シリーズ(OQS)」へ進む事ができる。そのため、パリ五輪出場を目指す世界トップレベルのBBOY / BGIRL 約200名が、世界各国から北九州市に集結した。日本からは強化選手の中から選抜された、BBOY3名とBGIRL3名の計6名が出場し、そのうち4名が25日のTOP8に駒を進めた。

優勝：Amir (Amir Zakirov : カザフスタン)  
2位：Jeffro (Jeffrey Mike Louis : アメリカ)  
3位：Shigekix (半井重幸 : 日本)

### BGIRL部門

決勝では、日本のAmiと中国の671が対戦。671は日本のAyumiにも準々決勝で勝利しており、BGIRLトップクラスのパフォーマンスが強みである。昨年は国際大会でも活躍し、オリンピックイヤーに向けて存在感を表している。フットワークを得意とするAmiとの決勝戦は、結果的にジャッジ票が1票差という、大接戦で671が世界一を掴み取った。先週行われた日本選手権で1位のAyumi、2位のAmiを倒しての世界一は、現段階で事実上のアジアの頂点とも言えるだろう。



優勝 671

優勝：671 (Qingyi Liu : 中国)  
2位：Ami (湯浅亜実 : 日本)  
3位：anti (Antilai Sandrini : イタリア)



2位 Ami



健闘を称えあう671とAmi

なお、この大会は、RKB毎日放送よりTBS系のテレビで放映されました。

(協力：ブレイクダンス本部PRパートナー FINEPLAY)

### BBOY部門

TOP8のファーストバトルから、オランダのMennoとカザフスタンのAmirが激闘。両者ともに、プレイキン Ion1バトルの世界最高峰「Red Bull BC One」での優勝経験があり、Mennoは世界選手権の初代王者、Amirも過去に表彰台に上がった経験を持つ。五輪フォーマットのジャッジシステムでも、世界で好成績を収める二人の戦いは事実上の決勝戦と言っても過言ではない。どちらのBBOYも、単発の技で勝負するのではなく、1ムーブ全体の幅を使ったストーリー性のある構成が強み。お互いプレイキン以外に、日々の活動ではクリエイターとしての一面もあるため、動きのオリジナリティや表現も世界トップクラスである。このバトルは、ジャッジ票が割れる接戦となり、タイブレークに突入したが、最後はAmirが制しTOP4へ進出。Amirはその勢いのまま、準決勝で日本のShigekixに勝利、決勝はアメリカのJeffroに2-1で勝ち、金メダルを掴んだ。



優勝 Amir



3位 Shigekix





# 茨城県ダンススポーツ連盟創立40周年 記念式典&ダンスパーティ

創立40周年記念式典・祝賀パーティー  
茨城県ダンススポーツ連盟・茨城県中央地区ダンススポーツ連盟

2023年3月5日(日) / ホテルクリスタルパレス(ひたちなか市)

1981年(昭和56年)11月1日、初代会長小林苐会長の働きかけにより、茨城県のアマチュアダンス35団体(サークル)が集まり、当時のJADA副会長だった故山口繁雄・小林彌寿枝組を迎えて結成記念大会も開催されるなど盛大に発会式を挙げる。1990年(平成2年)には全国に先駆けて茨城県体育協会に加盟を果たしました。それから32年後の2022年4月1日、JDSFは全47都道府県体育協会(スポーツ協会)に加盟を果たし、国体への道が確定したこと。そして、約40年間のダンススポーツの発展に貢献したことが評価され、永井彰会長が昨年秋の叙勲で旭日双光章を受賞するなど、我が国のダンススポーツ界を牽引してきた茨城県の功績は大きく、本日の記念式典も盛大に開催されました。

会場は13時オープン、2時間ほどのダンスタイムで盛り上がり、15時15分から会員によるフォーメーションや県を代表する選手のトライアル、田中秀朗氏(名誉会長)が思いを込めてスタートしたひたちなかジュニアDSCの女の子によるリズム体操、さらにスタースタージャンプDSCによるラ

テンダンスも披露された後、記念式典が始まりました。

冒頭、永井彰茨城県DS連盟会長が、「皆様、お久しぶり」から始まり、「コロナ禍で5年毎の記念式典も1年遅れの式典となりました。顔を見て、踊ってみて、もう大丈夫、安心した!!」と開会の挨拶の後、大谷明ひたちなか市長は、「ダンスは健康で長寿の源! 永井会長と皆様方の益々のご健勝とご多幸を祈念します」と祝辞。そして、磯崎達也県議会議員は「これからも地域に根ざして益々のご発展を!」とご挨拶。続いて山田淳JDSF専務理事は「会場に入った途端に茨城県連の素晴らしい組織力を感じた。ダンススポーツは2028年長野国体から正式な公開競技種目に! さらに、キッズからお年寄りまでみんながいつまでも楽しめるスポーツ。健康増進に努め、皆様、いつまでもお若く、お元気で!」と祝辞を述べました。

ご来賓の紹介のあと、茨城県選出の永岡桂子文部科学大臣より「40周年おめでとうございます。日々の鍛錬が大切!」等、の丁寧な祝電が披露されました。



永井彰 茨城県連盟会長  
大谷明 ひたちなか市長  
磯崎達也 県議会議員  
山田淳 JDSF専務理事



吉川英司副会長の乾杯



オープニングダンスを楽しむ  
大谷市長と磯崎県議会議員



ダンスタイムを楽しむ田中秀朗名誉会長

## 特別表彰



前回受賞後20年以上



前回受賞後10年以上

## ご来賓の皆様



茨城県役員の皆様



ご来賓一同



## 茨城県を代表する選手



平沢一夫・平沢恵子 組



松浦剛・松浦直美 組



初見甚・初見智恵子 組



橋本琉正・笹澤凜 組



石井恒吉・石井絢子 組



後藤秀眞・藤本のぞみ 組



斉藤愛心・打越心優 組



すみれDSC:フォーメーションチーム



ひたちなかジュニアDSC



スタースタージャンプDSC

## ショータイム



ダンスの世界大会  
「Showstopper FINAL  
(ショーストッパー・  
ファイナル)」の  
ソロ・シニア部門(15~19歳)  
に日本人で初優勝。  
福島東稜高3年一条末悠さん

日本を代表する  
JDSF-PDチャンピオン  
久保田弓椰と  
地元茨城県出身の  
徳野夏海組による  
シューダンスタイム



## あんこう鍋どぶ汁で慰労会

翌日は永井彰茨城県会長、田中秀朗名誉会長の案内で、阿字ヶ浦海岸まで出かけて、どぶ汁を堪能。汁が濁るほどあん肝の量が多いのが特徴で、濃厚で深みのある味わいの鍋料理は幻の料理とも言われ、参加者は皆さんご満悦でした。



永井会長と田中名誉会長 後姿は居樹保朗  
東京都名誉会長と篠田龍佑東京都会長



参加者一同



入場を待つ選手たち

# 第2回東京都シニア・コミュニティ交流大会 『TOKYO 縁ジョイ!』

2023年1月17日(火) / 武蔵野の森総合スポーツプラザ メインアリーナ



安達実行委員長

日頃から広くシニア世代が趣味として親しんでいる「楽しみ」を通じた交流大会を実施し、人と人とのつながりを新たに生み出すとともに、身近なコミュニティへの参加のきっかけづくりを目指すことにより、シニア世代の健康で心豊かな生活を応援する——ダンススポーツは、囲碁、将棋、健康マージャン、カラオケとともにその交流種目に選ばれた唯一のスポーツです。

小池百合子東京都知事や縁ジョイ!サポーター役のキンタロー。さんを迎え、その第2回大会が1月17日に調布市の武蔵野の森総合スポーツプラザで実施されました。参加資格はカップルのどちらから東京都在住60歳以上、日頃ダンススポーツの競技会にはあまり縁のないダンス愛好者も積極的に参加し、団体戦30組と個人戦のラテンに76組、同ス

タンダードには103組の参加者が集いダンススポーツを通じたコミュニケーションの1日を楽しみました。

11:00、30組のチームと個人戦出場カップル入場に続き、主催者の安達立美交流大会運営実行委員長と居樹保朗ダンススポーツ実行委員長、都民ファーストの会からかけつけた入江のぶこ都議、そしてキンタロー。縁ジョイ!サポーターが加わった開会宣言につづき、プロダンサー8名の華やかなオープニングデモンストレーションに続き、午前の部団体戦の幕が開きました。

予選、準決勝、決勝を戦い抜いて8組に絞られたチームから優勝、準優勝、3位の3組が選ばれ表彰式へ。そのプレゼンターには主催者を代表して小池百合子東京都知事が登壇しました。キンタロー。さんとともに競技を楽しんだ小



小池百合子都知事



キンタロー。



入江のぶこ都議

## オープニングデモンストレーション



## スタンダードデモンストレーション



選手入場



デモ選手団



役員集合





ベストドレッサー賞



緑ジョイ賞



長寿賞



池知事から手づからの賞状・記念品を受け取った3チームのメンバーは感激もひとしおの様子でした。

午後の部、個人戦に先だってはダンス講習会が実施。キンタロー。さんが呼び込んだのはともに昨年の三笠宮杯ラテンチャンピオンの山本武志プロと大西大晶選手。的確なワンポイントレッスンに、参加者たちは先ほどの競技とはまた別の楽しみを満喫しました。講習会後半は、その山本武志・木嶋友美組によるデモンストレーションへと続き、個人戦のオープニングに花を添えます。

午後の部個人戦は、ラテン・スタンダードの順で、それぞれ初級・中級・上級に分かれた6ジャンルが行われます。前半はラテン個人戦でそれぞれの熱戦を制した6位までのカップルが表彰を受けました。プレゼンターを務めたのは

吉原宏幸東京都総務部企画担当部長とキンタロー。さん。その後、再び山本武志・木嶋友美組のスタンダード・デモンストレーションに続き、スタンダード部門の個人戦がスタートします。ラテン競技以上に盛り上がったスタンダードの表彰には再び吉原・キンタロー。両氏によるプレゼンテーション。さらに初心者からベテランまで誰もが競技を楽しみながら交流できるという大会の趣旨に沿った特別賞の発表も行われました。最年長ペアの長寿賞をはじめ、競技やダンスでもっとも楽しみながら会場を盛り上げた緑ジョイ賞、着こなしや所作・振る舞いで会場に明るさを振りまいたベストドレッサー賞の計5組が表彰され、ダンススポーツに興じた長い日が終わりました。



ダンス講習会



競技風景



団体戦優勝 ウィナーズ

団体戦表彰式



Latin

初級



Standard



Latin

中級



Standard

個人戦入賞者表彰式



Latin

上級



Standard





## つなげていきます スポーツへの想い

スポーツくじの収益は、  
日本のスポーツを育てるために  
使われています。

スポーツL **toto** **BIG**

[www.toto-dream.com](http://www.toto-dream.com) [www.toto-growing.com](http://www.toto-growing.com) ⑤19歳未満の方の購入又は譲り受けは法律で禁じられています。払戻金も受け取れません。運営・販売：独立行政法人日本スポーツ振興センター

ダンス・ダンス・ダンス  
第107号 (Spring)  
令和5年5月発行

- 発行人 / 山田 淳 (公益社団法人日本ダンススポーツ連盟専務理事)
- 編集人 / 神宮周二 (公益社団法人日本ダンススポーツ連盟広報部相談役)
- 編集長 / 佐藤肇之 (公益社団法人日本ダンススポーツ連盟広報部長)
- 企画 / 公益社団法人日本ダンススポーツ連盟広報部
- 発行所 / 公益社団法人日本ダンススポーツ連盟  
〒135-0063 東京都江東区有明3-4-2 有明センタービル1階  
<http://www.jdsf.or.jp>

TEL.03-6457-1850 FAX.03-6457-1857

©本誌の記事・写真の無断転載を禁じます。